

「岩木プロジェクト健診」スタート

# みんなで健康づくり

## 70項目 病気予防など活用

弘前市岩木地区の住民を対象とした大規模な健康調査「岩木健康増進プロジェクト健診」が28日、岩木文化センターあそべーるなどでスタートした。10日間で、約1100人の健康状態をおよそ600項目にわたり詳細に分析し、住民の健康づくりや生活習慣病の発見、予防法確立などに生かす。

同健診は2005年から弘前大学や弘前市（旧岩木町）などが実施。14年度には、これまでの健診の調査データを認知症や生活習慣病の予防法研究に生かす、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム（COI事業）」の拠点に採択されたことを受け、認知症関連など調査項目を2倍近く増やし、へ

初日の28日は約100人が血液検査や身体機能、歯科口腔など各種検査を受け、医師や医学部学生、ボランティアの他学部学生、ひ

岩木地区の住民約1100人を対象に、今年もプロジェクト健診がスタート



ろさき健幸増進リータップが対応した。1から計約250人のス  
弘前大学医学研究

科社会医学講座の中路重之教授は「何よりもみんなで健康を目指す取り組み」としつつ「腸内細菌や認知症、体力の部分などかなり詳しく調査しており、最先端の研究にも役立つ」と話した。

弘前市は今年度、「岩木健康増進プロジェクト医療費データ調査事業」として、同健診を受けている国民健康保険加入者と、一般の国保加入者の過去5年間分の医療費を比較する取り組みも行う。

（西尾 瑛）